にんじんの鮮度を守りながら、熊本から静岡まで運搬しています！

熊本セーフティベジフルさん

コータローが取材しました！

代表取締役 植野社長

熊本県 ぎょくとうまち 玉東町 熊本市から車で約30分

どんな会社？

コータロー（以下コ）：セーフティベジフルさんはどのような事をされている会社ですか？

植野さん：弊社は無農薬、減農薬で栽培された青果物を生産者から直接仕入れて販売しています。

コ：やっぱりフルーツの方が多いですか？

植野さん：いえ、うちの場合は圧倒的に野菜の方が多いです。

コ：へえ！ここの地域は柑橘が多いんですよね？

植野さん：基本的に温州みかんの一大産地と言うか、玉東町自体は面積的にそんなにないんですが玉東町の南の方に「ニノ岳（さんのたけ）」という山があって、その麓や中腹あたりをぐるっと、南から西周りにまいて、柑橘の産地が8割くらいあります。それが「オレンジベルト」なんて呼ばれています。

コ：玉東町の主力は柑橘で、セーフティベジフルさんは野菜が中心と。取り扱っている、野菜や果物を教えてください。

植野さん：**なんといってもまず人参ですね。**次に取り扱いが多いのは、グリーンアスパラ、玉ねぎ。あとはトマトやミニトマトとか…豆類も多いですね。

なぜこの仕事を？

コ：なるほど。では次に、どうしてこの事業を始められたのか、社長のこれまでなどぜひ教えてください。

植野さん：もともとサラリーマンだったんですが、務めて20年たった、42歳の時に退職しました。そしてすぐ行政書士事務所を立ち上げました。

コ：はじめは行政書士事務所だったんですね。42歳！僕の今の歳です。

植野さん：行政書士事務所を開設して、最初は当然全然仕事もなくて。営業回って、何でも屋みたいに言ってたんですよ。そんな時にたまたま、無農薬、減農薬で栽培する生産者さんとの出会いがあった。

行政書士の仕事として関わっていったら…この際流通をやってくれないかと頼まれた。

事務手続きが結構大変なんですよね。事務的な事ならできるかなと思って、軽い気持ちで始めたんです。

サラリーマン、行政書士と最初は農業と全く関係ない仕事をしてきたので、すごく苦労しました。専門用語も全く分からない。最初の1年間はめちゃくちゃ勉強しましたね。

コ：おもしろいですね。色んな事をして鍛がっていく…。ピカイチ野菜くんとのつながりはどうやって始まったのでしょうか。

植野さん：まず、平井さんの人参との出会いが先ですね。凄い人参を作っていらっしゃるなと。

それから色々な所へ声をかけて、その中で関東の方の会社さんから、ジュースを作っているピカイチ野菜くんという会社があると言われ、すぐ調べて「うわぁ、すごい会社だ。大丈夫かな…」と思いました。

でも平井さんの人参なら自信もって大丈夫だと思いました。

平井さんの人参を広めたい、と思い回っていたら出会ったんです。

コ：初めてお会いしたのは、2018年ですね。

植野さん：出会いから、4～5年ですかね。まだ4～5年ではありますが、すごく足を運んでいただきますし、今までいろんな問題や色んな事がありましたが鍛がっていただいていて、心理的な距離で近くなったなと思います。

トラックを購入！

コ：強烈に驚いたのが、人参の運搬のために10トンのトラックを購入して植野さん自ら運搬を始めていただいた事です。なぜそこまでしていただけたのでしょうか。

植野さん：お付き合いが始まった当初は1回の注文が4～5トンだったのが、段々と大型車をチャーターできるくらいの量のご注文をいただけるようになりました。

最初の頃は業者におまかせでした。4～5t は目前ではは厳しいですから。

でもチャーターできるくらいの注文数に変わって、そんな時、さすがに10トンの品質管理を人任せにしていいのかなと思いまして。

1回に10トンも取っていただけるという事に対して、うちもそれに品質管理で答えることが大事だと思って、弊社専用車として購入しました。

コ：ありがとうございます。明らかに品質が良くなりました。葉っぱ入りにんじんジュースで使う、にんじんの葉っぱの輸送は本当に難しいじゃないですか。（人参の葉っぱを届けて頂く事もあります。）

植野さん：あれは難しいです。あとは、私が「運ぶ」ことにより、人件費がゼロなんですよね（笑）これも大きい。

コ：熊本から静岡ってなかなか距離がありますが、収穫してから鮮度が上がることはないのでその鮮度をキープしてくれていることはとてもありがたいです。春人参からさらにデリケートになってきますし。静岡までどれくらい時間がかかりますか？

植野さん：距離で言うと大体1100キロくらい。トラックが安全に走れる速度で走ると、（休憩なしで）15時間くらいです。

なるべく短時間で品質を落とさないようにする為に、出発時間や、休憩時間、就寝時間などを工夫して運行しています。

コ：人参を運送する際、気を付けていることなどありますか。

植野さん：人参の鮮度を守るために3度以下で予冷をかけているんですが、走っていると昼間は5度まで上がる事もある。なので気をつけているのは、庫内のデジタルの温度計。**あれは常に見ています。**

にらめっこしたら事故っちゃうけどね（笑）こまめに温度設定をしています。休憩したときドアを少し開けて冷えてるか確認もします。

コ：人参にいかに負担をかけないように運ぶかは普通の会社じゃできないですね。

玉東町はどんな所？

コ：話は少し変わって、セーフティベジフルさんのある熊本県玉東町はどのような場所ですか。

植野さん：県の北部に位置しているんですが県内でも認知度はあまり無くて。小学校は2校、中学校は1校だけの、人口が5000人位の町です。

農業が盛んで。みかんと、梨も美味しいですよ。

①ハニーローザという、すもも。

収穫量日本一。

②木葉猿（こはざる）の発元（見猿、言わ猿、聞かず猿）があります。ここは観光バスが止まりますね。今はその年の干支を焼いたりしてますね。

③西南戦争の激戦区が、田原坂公園に隣接しており、吉次（きちじ）峠という所は田原坂と鉄砲で激戦した地としても有名で現在は公園化され熊本県の文化財指定を受けています。

植野さんの熱い想い

コ：植野社長の人参や果物、野菜への熱い想いを教えてください。

植野さん：私のポリシーは強いんですけれども、人が口にする物ですので、**どういう土壌で、どういう肥料で、どういう農薬を使ったのかには相当気を使います。**

弊社の生産者は農薬の散布歴や肥料を何を使うかを元々こだわっている方達ですが、それでも毎年出荷前に何を使ったか報告してもらっています。

価値観はそれぞれなので否定しませんが、現在80歳以上の高齢者がなぜ元気に活動できているのかを考えた時、全体的に食が関係してくると思っています。人が見えて、どういう育ち方をしていて…と説明ができるものを食べるべきだと考えています。

そこは譲れないところです。

コ：最後にご利用いただいているお客様へのメッセージをお願いいたします。

植野さん：ピカイチ野菜くんはその名のとおりピカイチだと思っています。

なんといっても、専務自ら全国を回って、見て、食べて、コミュニケーションを取って。人とモノをしっかり確認されていることが凄いなと思っています。

それで生産者と触れ合い、その目で見て厳選された、お墨付きのものを食べられる、そんなお客様は幸せだろうなと思います。

弊社のコンセプトが、安心・安全な食べ物で体の中から健康になりましょうというものです。

皆様も、安心・安全な食べ物で身体の中から健康になりましょう！

ピカイチ Heart to Heart ―ハート トゥ ハート― 本音で語ろう

ピカイチ Heart to Heart とは、ピカイチ野菜くんをご利用頂いているお客様のもとへスタッフが直接お伺いしたり、お電話にて取材のような形でお客様と本音で語り合う企画です。

第24回 今回のお客様は **東京都にお住まいのT様です** ご協力ありがとうございました！

カンタン定期便をご利用中のお客様です。

粒だよりバックナンバー
過去の粒だよりを2019年1月号からご覧頂けますQRコード、または
粒だより 一粒万倍 検索

お客様インタビュー
ハートトゥハート、ちょっとトークの2つをご覧頂けますQRコード、または
ピカイチ野菜くん お客様インタビュー 検索

たくさん調べて出会った「わたよう式」人参ジュース

人参ジュースを始めたきっかけを教えてください。

人参ジュースを始めたきっかけは、主人の病気です。2015年1月、何の前触れもなく病が襲ってきました。体調に異変を感じ、診察したところ大腸がんが見つかりました。大腸以外にも、癌になりそうなものがあるといわれ、入院をしすぐに手術をすることになりました。退院後に、主人がどのような生活をしたらよいのか・・・。

入院中に癌についてたくさん調べました。そこでよく耳にする「わたよう式」を見つけました。近くの本屋さんでいろいろな本を調べたら、当時は「わたよう式」が主流でした。

そこで、人参ジュースを飲もうと思ったことがきっかけです。

ご主人様の突然のご病気、奥様も大変心配な状況でしたね。ピカイチ野菜くんの人参をご購入いただいたきっかけをお伺いさせてください。

当時、農薬を使用していない人参をどこで買えば良いのかわかりませんでした。その当時は近所のお店でも手軽に購入することが出来ながったですよね。オンラインも今のように主流ではなく、あまりなかった。

それで、同じような病気になった方のブログを探しました。あるブログに、すごく若い方で大腸がんになってしまい、人参を搾って飲んでいるというブログを見つけました。その方のブログをかたっぱしから読みました。

そこに、**ピカイチ野菜くんというオンラインショップがあると書いてありました。たくさん調べて調べてやっとたどり着きました。**

ただ、オンラインのお店だし、新しいお店は不安もありました。だから、はじめは10kgずつ。必要なときに、必要な分を頼んでいきました。

はじめのうちは、ベースもつかめなくて試行錯誤しながら飲んでいきました。ジューサーも、その方が低速ジューサーをピカイチさんで購入していたので、おなじく購入しました。ヒューロームのジューサーを使用しています。

たくさんの情報の中から、当店を見つけていただき本当にありがとうございます。もう7年目ですね、他に人参を購入する際に利用されたお店などはありますか？

他のお店の人参も購入しましたよ。近所に、有機栽培のお店ができました。有機栽培の農家さんって、販路がなくて。有機栽培のお野菜を集めて販売しているお店でした。

そこのお店は青山のファーマーズマーケットで土日にも並んだりしているお店です。

そんなお店が近所にあり、そこで人参を購入しました。

いまは、当時と比べるとスーパーでも農薬不使用の人参を購入できるようになりましたよね。

人参ジュースを搾っていると、たまに搾汁率がいつもと違って少なくなってしまったりするときがあって。昔はジューサーも今より搾れなかったでしょ。

だから、ピカイチ野菜くんから届く人参だけだと足りなくなってしまうことがあって。

そんなときに、土付き人参をそちらのお店で購入していました。

今は、ジューサーの性能も上がってすごく搾れるようになりましたね。

一日のペースもつかめるようになったので、今はピカイチ野菜くんの人参だけです。

はじめは、単品注文にしていましたが、ある時にピカイチ野菜くんから「カンタン定期便で10kg3回コースがありますよ。余ってしまったり、調整が必要なときは、お休みもできますよ」と紹介をしていただきました。

当時、代引き手数料も無料だったので定期便を利用することにしました。

それからずっと7年間ピカイチ野菜くんを利用しています。

人参ジュースが夫婦の日常 飲まないと不安になります

変わらず当店をご利用いただきまして誠にありがとうございます。人参ジュースは、毎朝お搾りいただいてますか？

人参は、1日700㎖ その他に生の野菜も搾っていて、それが300㎖主人は合計1ℓを飲んでいます。私は、野菜ジュースだけ飲んでいます。飲むタイミングは朝と昼ですね。

お野菜は、農薬不使用のお野菜を農家さんから配達してもらっています。お野菜は小松菜・ケール・キャベツなどを搾っています。果物は、レモンとりんごを一緒にいれて搾っています。もう毎日の日課になっています。ただ、人参ジュース、食材を切るのが大変ですよね。

実はは6年間続いていたら、わたしが腱鞘炎になってしまいました。その時から、主人が自分で野菜を切るようになりました。

毎朝早起きして、ジュース用の食材を切っています。もう今では主人の担当になっています。

大変とは言わずに毎日切ってくれていて、美味しいジュースを飲んでいます。

人参ジュースが、わたしたち夫婦の日常になっていますね。

飲まないと不安になったりします。やっぱり毎日の積み重ねが健康な身体をつくってくれる、と思います。

いまでは、泊りがけで出かけるときも人参ジュースは欠かさないようにしています。

出かける際は瓶ジュースや缶ジュースをもっていくようにしています。

【飲まない、飲めない】という不安より【安心】のために、持ち運びができるジュースを持っていて欠かさずに飲んでいます。

もう、人参ジュースは「私にとって「生活になくてはならないもの」ですね。その他、お食事など気を付けているものはありますか？

今は、食事も気を付けるようにしています。

主人は以前、野菜よりも、お肉ばかりたべていました。

そんな主人が今では野菜が好きで野菜中心の食生活になっています。

現在は、週に3回魚・お肉は鶏肉の胸肉だけ。あとはお野菜をたくさん食べるようにしています。

加工品や豚肉・牛肉は癌のリスクを考えて控えています。

塩分も気を付けるようにし、食生活を根本から変えていきました。

術後から現在に至るまで、主人の容態は問題ありません。

血液検査を3ヶ月ごと今でも行っています。その血液検査の数値でみても良くなっているのが分かります。

やっぱり、たまに卵を食べ過ぎたりしたときはコレステロールが高くなったりしますけどね。

血液検査で全部証明できます（笑）

もちろん人参ジュースが大きな力になってくれています。

6月号（後半）へ続く

取材担当の感想

T様の取材につきましては、5月号・6月号と2号にわたり掲載をさせていただきます。

大変貴重なお話をお伺いさせていただきましたので、たくさんの皆様にご紹介させていただきたく思っております。

6月号は（後半）人参ジュースの搾りかすの活用方法や、農家さんへの想いなど、取材をさせていただきました。是非、6月号掲載分（後半）もお楽しみに。

※記事の内容につきましては、個人の感想であり、効果効能を示すものではありません。どうぞご了承ください。